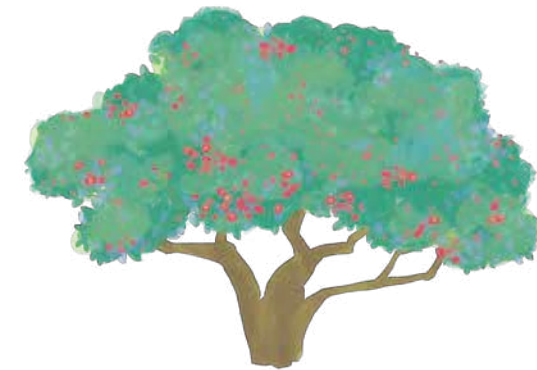


椿の
パーフェクトブック
—— 大船渡が誇る宝 ——

Tsubaki Perfect Book



Tsubaki Perfect Book

椿のパーフェクトブック
—— 大船渡が誇る宝 ——

大船渡市ヤブツバキ分布図

大船渡市では、いたる所でたくさんの椿を見ることができます。
地区別ではどこの椿が多いのかな？



●ヤブツバキの成木本数
(2015年12月末・大船渡市農業委員会調査から)

盛	80
大船渡	286
末崎	3,320
赤崎	1,047
猪川	233
立根	1,246
日頃市	474
三陸町綾里	183
三陸町越喜来	574
三陸町吉浜	254
合計	7,697

ほんとはもっとあるよ！
探してみてね！

銀河連邦サンリクオオファナト共和国
PRキャラクター おおふなトン

末崎町 椿のみどころMAP

1 基石椿園
2 世界の椿館・基石
3 三面椿
4 三面椿舎
(椿油の搾油所)

※本調査の範囲には山林が含まれておらず、実際の椿の本数は、本調査結果をはるかに上回ると推測されます。

1 基石椿園

2 世界の椿館・基石

3 三面椿

4 三面椿舎
(椿油の搾油所)

Tsubaki Perfect Book

椿のパーフェクトブック — 大船渡が誇る宝 —

制作：明治大学文学部・平山満紀ゼミ学生一同(2017年度)
監修：大船渡市、三面椿の会

CONTENTS

- 01 目次
- 02 大船渡市ヤブツバキ分布図
- 03 大船渡で椿と出会う
- 04 気仙と椿の関わり
- 05 椿の可能性・1 椿ってこんなに使える！
- 06 椿の可能性・2 椿油をもっと詳しく！
- 07 椿の可能性・3 椿商品で大船渡を盛り上げよう！
- 08 椿の可能性・4 椿の魅力を伝える人々！
- 09 秋はみんなで椿狩り！ — 実の集め方 —
- 10 秋はみんなで椿狩り！ — 椿油ができるまで —
- 11 三面椿の「これまで」と「これから」
- 12 災害と椿
- 13,14 あなたにとって椿とは？

本書の目的について

「椿のパーフェクトブック — 大船渡が誇る宝 —」は、大船渡と椿の関わりや、その魅力を伝えるために作られました。気仙地方の椿の歴史、習慣、文化、さらに「椿を地域資源」として活用する人々の想いを紹介しています。

大船渡で 椿と出会う

椿【tsubaki】とは

ツバキ科ツバキ属の常緑中高木です。学名を「Camellia Japonica」と言い、日本原産の植物です。ツバキ属にはヤブツバキ、ユキツバキなどの種がありますが、江戸時代には野生種から園芸品種が多く作られ今では2,000種にも。18世紀以降欧米に渡り、華やかな西洋椿が作られました。品種は、現在全世界で6,000種以上にものぼっています。

Meet Tsubaki in Ofunato



大船渡と椿

大船渡市はヤブツバキの北限の地で、市内の至る所にヤブツバキが自生しており、「椿の里」と呼ばれています。また、椿は市の花に指定されており、まちのシンボルとなっています。

三面椿

末崎町中森の熊野神社境内にある樹齢1400年、日本最大・最古と言われているヤブツバキは、境内の東、南、西の三面にあったことから「三面椿」と呼ばれています。

※詳しくは11頁「三面椿の」これまで」と「これから」へ。

碁石椿園

碁石海岸・大浜を臨む碁石椿園は、ヤブツバキをはじめとした約1000本の椿が植樹されています。高台にある東屋からは赤・白・黄色などさまざまな色に咲き乱れる椿とリアス海岸の美しい景色を堪能できます。

世界の椿館・碁石

「世界の椿館・碁石」は椿を展示する屋内施設としては国内最大級であり、日本だけでなく、世界13カ国約550種類700本もの椿を一堂に堪能することができます。特に椿が見頃を迎える1月下旬から3月下旬にかけては、百花繚乱の世界が広がります。また、地域で生産された四季折々の植栽展示のほか、椿の苗木、椿グッズ、椿油などの販売も行われています。開花期には「三陸・大船渡つばきまつり」が開催されます。

椿館の館長・林田勲さんに今後の椿館について伺いました。

林田館長「平成9年の開館から20年以上が経ち、来場者の方々にとさらに椿を楽しんでいただくさまざまな取り組みを進めたいと考えております。特に「体験型」のプログラムに力を入れ、その第一弾として大型の搾油機の導入が決まりました。今後は搾油体験を楽しめるようになります。」

気仙椿の歴史と習慣

気仙地方(大船渡市、陸前高田市、住田町の3地域で構成)は、岩手県の中でもヤブツバキが多く生息している場所として知られています。

昭和6年に刊行された農林省山林局編の『椿及び山茶花二関スル調査』には、当時の岩手県における椿の分布地について、沿岸部では南部の気仙地方に最も多く自生し、海拔100メートル位まで生育し、主に屋敷周り、畑の畦畔、また山林に多く見られることが記されています。椿は生育良好で、果実を採取し製油の材料に供されています。また、昭和24年に林野庁の掲げた椿の主な生産地の1つに岩手県気仙郡広田村(現陸前高田市)も挙げられています。

採った油は食用をはじめさまざまに利用されました。油は1年間で1軒あたり一升瓶で約3〜4本分取れ、けんちん汁、天ぷら、なべやき、魚料理にも使用していました。

気仙地方には日本四大名工の一つと言われる気仙大工が活躍し、彼らはノミヤのこぎりが錆びないように椿油を使用していました。お寺の祭壇に置かれている燈明(神仏に供える灯火)を灯すためにも椿油を使用し、また、山火事が周辺のお寺や山々へ延焼することを防ぐ防火林(椿は葉に水分が多い常緑広葉樹のため)として椿を植えていたと言われています。

木製の搾油機

昭和初期頃まで、多くの集落では木製の搾油機を使用していました。種を搾油機に入れる前に、杵と臼で細かく砕き(写真1)、砕いた種を30分程蒸し、その後蒸しあがった種を圧搾することで椿油を抽出していました。

木製の搾油機にはいくつかのタイプがあり、椿の両端を持ち回すと種に圧力がかかる万力方式のもの(写真2)や、木に紐を巻きつけ回すことで圧力を加える大型のもの(写真3)などがありました。



写真1



写真2

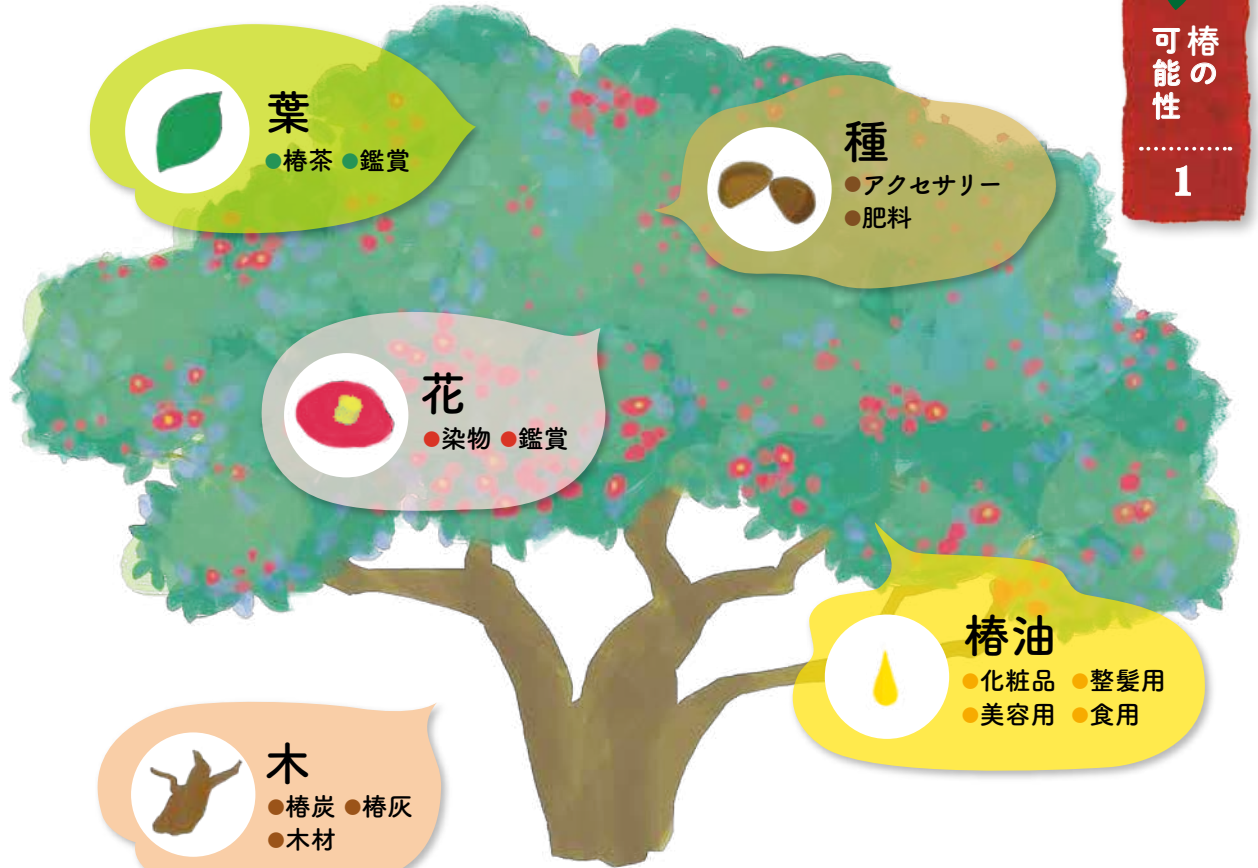


写真3

万力方式の搾油機。圧力がかかることで椿油が抽出される。

Kesen X Tsubaki 気仙と椿の関わり

気仙の人々は、古くから椿とともに暮らしてきました。文献や伝承から垣間見えるその歴史を紐解いてみましょう。



椿ってこんなに使える!

椿は花が美しいだけでなく、その全てが生活の役に立つ有用植物です。ここでは特に、精油の効能についてご紹介します。

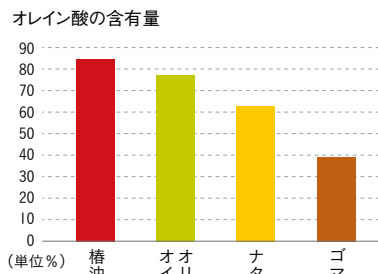
精油って他の油とどう違うの？

精油の主な成分はオレイン酸という脂肪酸で、悪玉コレステロールを減らし、動脈硬化や心臓病、糖尿病を予防する効果があります。

また、オレイン酸は人の肌に近い成分で、肌に馴染みやすく保湿効果も高いので美容にも優れています。精油にはそのオレイン酸がなんと約85%も含まれています。オリーブオイルでさえ75%程度

ですから、精油がどれほど素晴らしい油か分かりますね。大船渡の一般家庭では昔から、髪の状態を保つために整髪用として使っていた人もいます。

また現在では、大船渡市内でネイルサロン「ラグジュアリーネイル」を営む及川由里子さんが精油を使ったハンドマッサージを行っています。



精油を使ったハンドマッサージ



三面椿舎 (大船渡市内・精油の搾油所)
株式会社 生成インターナショナル
代表取締役 山田康生さん

震災の時、精油を使った五島うどんを炊き出ししている際に、気仙地域がヤブツバキの北限だと知る。その後支援を続ける中で、地元の要望に応え搾油所を設営。誰かがやっつて、ではなく、みんなが関われる椿事業を提案・展開している。

精油をもっと詳しく!

大船渡産の精油を使った商品開発で地域の活性化を目指している、精油搾油所の山田さんにお話を伺いました。

精油には加熱油と非加熱油があり、ますが(詳しくは10頁)、その違いを教えてください。

加熱油は食用、非加熱油は化粧品用に向いています。もともと精油は酸化しにくい油ですが、化粧品の原料として考えると、たとえ手間暇かかる作業を経ても、出来るだけ注意して搾ろうとコールドプレス(非加熱)を試みています。逆に、食品開発の場合、もともと調理過程では加熱することも多く、また産業化・商品化のためには、少しでも原価を下げることも必要なので、大量に搾油できる方法を使っています。

具体的にどのような商品を開発しているのですか。

料理研究家や地元の料理店の方々に提案して、精油を使った加工品の開発をしています。特に精油の香りは和食と相性も良く、味を引き立ててくれたり、まろやかに仕上げられます。洋菓子などには、香りを抑

えて成分的な要素を活かしたり、花弁を使ったりして創作を楽しんでいます。

食品の他にどのような商品がありますか。

石けんです。石けんは買やすいしギフトにもできます。精油には保湿効果があるので、その材料にぴったりです。石けんには精油の他にも色々なものをブレンドすることができて、柿渋を混ぜれば加齢臭を防ぐ効果もあるし、炭を混ぜれば汚れもキレイに落とすことのできる石けんになります。さらに末崎町のハーブ園で採れたハーブを混ぜて良い香りにしてもいいですね。

今後、大船渡産の精油をどのように広めていきたいですか。

例えばオリーブオイルは、ワインと同じように毎年世界各地の産地のもの比べる品評会が行われています。それと同じように、精油も品評会を



▲精油(非加熱)の商品

【お問合せ先】
三面椿舎 (大船渡市内・精油の搾油所)
TEL・FAX: 0192-47-3528

開いたら面白いかもしれません。精油は産地や搾油方法によって香りや味、成分が違います。精油には産地ごとの良さがあって、その良さを知る機会があれば気仙椿の知名度も上がるでしょう。実はオリーブオイルも20〜30年前はほとんど流通しておらず、一般に知られるようになったのは最近です。もしかしたら将来、精油がスーパーやコンビニに並んでいるかもしれないですね。

今後は、これまで椿の関係者だけで行っていた既存のビジネスにプラスして、ひとりでも多くの地域の人々や異業種の人々が参画できるワークショップや、椿の商品開発に取り組んでいけるように椿事業の横展開を考えていきたいと思っています。

◀パスタの断面はソースが絡みやすい星型。



三陸星椿麵



椿商品で大船渡を盛り上げよう！

椿油をそのまま使っていた昔とは異なり、今、椿を素材にした新商品が続々と誕生しています。

株式会社 バンザイ・ファクトリー
代表取締役 高橋和良さん

2012年に陸前高田市に工房を建設し、地元の人々を雇用して椿茶や椿油を使ったパスタや冷麺を製造。2018年4月から大船渡市内に3棟の椿工場を新築し、商品の量産体制を整える。



椿を使った商品

バンザイ・ファクトリーでは「気仙椿」を使った人気の商品を生み出してきました。

1つ目は「椿茶」。岩手県気仙地域に咲く「気仙椿」から一枚一枚丁寧に採取した葉を乾燥させ、県北部の九戸村産の甘茶とブレンド、手もみを繰り返して製茶した商品です。

2つ目は「三陸星椿麵」。こだわりの厳選素材を使用した極太麵と椿油を使った絶品オリジナルソースがよく絡む星形のパスタです。

3つ目は「三陸椿冷麵」。麵に椿油を練りこんだ売れ筋一の人気商品。盛岡冷麵とは違う感触のとても美味しい麵とスープです。

他にも「気仙椿をシンボルにして深く根を張り、強く美しい商品をこの地で生み出したい」という思いから「三陸椿物語」というブランドイメージをつくりました。

商品開発の苦労

誰もやっていなかった製法や商品をゼロから生み出すことは失敗も多く、多数の商品を開発し売り出すには先行投資、時間、苦労が付きものです。

「椿茶」だけでも、構想から研究開発をして、プロダクトライン、デザイン、パッケージを考え、1次卸2次卸3次卸を念頭に原価を調整し3年かかりました。「三陸椿冷麵」は4年半もの開発期間をかけました。

ただ商品を作り出すだけではなく、魅力ある商品を売り出し、ゆくゆくは椿といえば「三陸」の名前がでるようにブランド力を持たせたいと考えています。

参考：
バンザイ・ファクトリー
<http://www.sagar.jp/>
絵本「三陸椿物語」より



三陸椿冷麵



◀お子様や女性に人気の爽やかな味わい。



椿茶

▲椿の葉と九戸の甘茶をブレンドしたほんのり甘いお茶。

椿の魅力を伝える人々！

椿の里づくりは、その美しさや魅力を様々な形で伝え続ける人によって支えられています。



元・大船渡市農業委員の大和田東江さん(左)、上部泉さん(右)



椿を植えて遊休農地を活用する活動もしている。

大船渡の農家の皆さんも、荒れ放題になってしまった遊休農地に頭を悩ませています。遊休農地を解消するため椿に目をつけて活動してきたのが大船渡の農業委員の方々です。元・大船渡市農業委員の大和田東江さん、上部泉さんからお話を伺いました。

椿の里を椿で守る

農業委員は、遊休農地に椿を植えることで椿の里である大船渡のイメージアップにつなげ、また少しでも農家の方々の収入になるようにと活動をしています。大船渡は椿の里と言っても「椿はどこにあるか」と疑問を持つ方がいるかもしれないと考え、誰の目にも触れる場所に椿を植えたい、広げたいという気持ちで遊休農地を活用した椿の植樹を進めています。

椿の里が抱える問題

1つ目は管理の問題です。

もともと管理が行き届かなくなることが原因で遊休農地となった場所も多く、椿を植えても除草や生育の管理を行える方が少ないことが挙げられます。

2つ目は椿の生育は時間がかかるという問題です。苗木を植樹した後、実が成り種を集め、一定量の椿油が取れるまでには10年以上かかると言われていています。他の農作物のようにすぐに収穫・売上に繋がりにくいという点があります。

椿の里の本当の意味

椿が十分に生育するには気候や風土に恵まなくてはなりません。大船渡を初めとした気仙地域では、「三陸椿」を中心に昔から椿が自生しています。同じ岩手県でも雪が積もる他の地域では椿はあまり咲きません。まさに椿は「気仙の宝、自然の恵み」です。そんな逞しく根付く椿の姿に私たちは魅了されるのです。

椿を形に...

大船渡には椿の素晴らしさに着目し、モノにして伝えていこうとする方々がいます。今回はその中の3名をご紹介します。

まずは、末崎町の及川宗夫さん。椿の実や殻を使い、ブローチやマグネットなど、独自の椿雑貨を自宅の工房で日々制作をしています。

つぎに、大船渡町の小松ヒトミさん。地域性を出す商品を考えていたところ、椿の花びら染めに辿り着き、さまざまな染物商品を手掛け広める活動をしています。

最後は、大船渡町の野田はるみさん。本物の椿の花びらを特殊加工し、ネックレスやイヤリングにして販売しています。イベント等でのワークショップにも積極的に参加されています。

3名とも異なるモノではありますが、それぞれが椿の特色や多様性を十分に活かし、素敵な商品へと変貌させ、私たちに椿の持つさまざまな魅力を伝えています。

及川宗夫さん
椿工房 おいかわ

楽しんで制作することをモットーに。数々のヒット作品を「世界の椿館・碁石」で販売。



小松ヒトミさん
糸紡ぎ工房 ハベトロット

落ちて間もない椿の花びらを拾い集め、もう一度その美しい色を輝かせる椿染め。



野田はるみさん
リッカ ルシッカ

椿の命を、そして大船渡と他の場所を「つなぐ」をテーマに作られたアクセサリ。

<https://www.instagram.com/likkalusikka/>



搾油方法は、椿油の用途によって「加熱」「非加熱」の2種類の方法があります。

5 粉碎・搾油



6 沈殿・ろ過

不純物を除去

7 完成



加熱

提供：石川製油



非加熱

提供：三面椿の会

タネを蒸したり、ロースト(炒る)してから搾るため、熱が加わることで水と油が分離し、たくさん油が取れます。食用の油などに適しています。

タネの中のむき実だけを使い、じっくり圧力をかけて搾油します。化粧品原料などに適しています。

椿油が
できるまで

1 収穫

もぎ取るor拾う



2 選別



3 洗浄

水洗い



4 乾燥

天日干しで約4週間



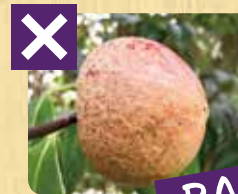
実の集め方

その1 実をもぎ取る

- 汚れ、虫食い、カビを防ぐなら**もぎ取るのがベスト!**
- 収穫後、**乾燥させると**パカッと割れてタネがとれます!



青い実が熟して硬くなってきても、割れるまではガマン!



その2 タネを拾う

- 落ちてから時間が経つほどタネが傷むので**早めに拾おう!**
- タネを割って**むき実の状態をチェック!**



ツヤがなく黒色、中にはカビ



穴空きや虫食い



赤茶けた色で中身がスカスカ

椿のタネは、たからもの!!
秋はみんなで**椿狩り!**
椿の季節は春だけではありません!
実りの秋にはたわわに実がなり、その良質の実からは椿油がたっぷりとれます。
ここでは、良い椿の実とタネの見分け方のコツをご紹介します。

注意すること

- ☑必ず地権者の許可を得て採集すること
- ☑木の周りのハチやアブに注意
- ☑急斜面では足元にも注意

監修：三面椿の会、石川製油、大船渡市

三面椿の

「これまで」と「これから」

三面椿の「これまで」

樹齢1400年といわれる三面椿はこれまで多くの災害に見舞われてきました。特に近年では2002年の台風被害によって、西面の根幹が折れてしまい、残されたのは東面の幹のみに。東日本大震災では被害を免れたものの、老木ということもあり三面椿の存続のためには保護への活動が不可欠です。
現在、支柱の設置、肥料の塗布などさまざまな取り組みが行われていますが、さらなる抜本的な保護対策が必要とされています。



三面椿【sanmen-tsubaki】とは

熊野神社の境内に生える日本最大・最古と言われるヤブツバキ。県天然記念物。熊野神社が創建されたとき、境内の東、南、西の三面にあったことから「三面椿」という名がついた。樹齢1400年と言われている。樹高10.1メートル、根元の外周6.2メートル。岩手県大船渡市末崎町中森17。

三面椿の「これから」

私は「日本ツバキ協会」の一員として、これまで三面椿を守る活動をしてきました。2002年の台風被害にあった時は、農業高校(現大船渡東高校)の石川正悦先生のご指導の下、日本ツバキ協会大船渡支部が協力し、台風で折れた枝を挿し木にして三面椿の再生を行いました。
他にも陸前高田市の石川精油さんと協力して「黄金の雫」という特別な椿油を販売し、売上金を三面椿の樹勢回復に役立てるという活動もしました。これからも三面椿を観光面でもっと有効に活用できればと思っています。



日本ツバキ協会大船渡支部 山下哲夫さん

三面椿を大船渡の力に



生成インターナショナル 代表取締役 山田康生さん

三面椿の油の贈呈を計画

この街や気仙椿を日本中、そして世界に発信していくためには、大船渡にある樹齢日本一を誇る三面椿がとても重要になります。気仙椿の価値を多くの人に知ってもらう上で、皇室や横綱、歌舞伎役者に三面椿の油を毎年贈呈するという構想を立てました。お相撲さんが使っているびんつけ油や歌舞伎役者さんが白塗りするときに使うドーランの前に肌に塗るのも実は椿油なんです。是非、日本が誇る彼らに日本一の椿油を使っ



熊野神社宮司 志田隆人さん

三面椿を後世に残す

子供の時は神社の境内が遊び場で、三面椿は私にとって身近な大きな木という存在でした。しかし台風で枝の半分がなくなったことで以前よりも増して貴重な存在になりました。三面椿を良い状態で後世に残していきたいと考えています。



熊野神社にあるお賽銭箱の奥に、もうひとつあるのが納実箱(のうみばこ)。神社を訪れた方々が、お賽銭の代わりに三面椿の実を入れることでも気軽に参りできる方法として設置されている。

災害と椿

この地には昔から多くのヤブツバキが自生しています。春には真っ赤な花を咲かせ、その美しさと力強さは、まさに三陸に生きる人々そのものを象徴しています。そしてまた、この椿に復興の想いを込める人々がいます。

三陸の地で

深く根を張る

強いこの木は

津波にも

負けることなく

生き残りました。

強い椿のように
なりたい



株式会社バンザイ・ファクトリー 代表取締役 高橋 和良さん

「樹木の中で椿は特に根を深く張る。立派な太さの椿になるために杉が費やす年数の10倍くらいかかるわけです。ですが一旦太くなると強い。やはり自分たちの考える三陸の復興を考えたいときに、深い根を生やすような研究開発をしたいと思います。会社も従業員も『自分たち自身がそんな椿のようになりたい』との想いで会社のブランドに椿を掲げています。」

復活させる
という想い



椿の花で染め物をしている 小松 ヒトミさん

幼い頃から身近だったという椿の魅力が再発見した小松さん。「ぼとって落ちる椿の花は縁起が悪いとも言われるんです。でも、その落ちた花から色素をもらって染め物をする事で、新たに復活させるという想いでやっています。」
新しく生まれ変わる椿に、大船渡の“今”を重ねてその魅力を伝えています。



椿の花でアクセサリーを作っている 野田 はるみさん

テーマは
つなぐ

震災直前に子供を出産するという経験をして、そこで命の力強さと大切さを実感した野田さん。「椿の花のシリーズには、“つなぐ”というテーマがあります。命を“つなぐ”ことと、大船渡と他の場所を“つなぐ”ことができれば良いなと思っています。」

椿を通して三陸・大船渡を一緒に盛り上げる企業



酔仙酒造株式会社

ロングセラー商品「雪っこ」を贅沢に使用した「雪っこオールインワンジェル」を2017年10月に発売。その中に大船渡産の椿油を取り入れ、大船渡の新たな椿商品を生み出しました。



SAPPORO

サッポロホールディングス株式会社

大船渡の復興を担う子供たちの椿を活用した学習を支援するため、2015年は恵比寿寿楽祭りの売上の一部を、また2016年からは株主優待制度を活用した寄附を続けています。



SHISEIDO

株式会社資生堂

三面椿の香り成分を配合した「リラクシングナイトミスト 椿の夢」を開発・販売。売上の一部が椿の植樹に充てられ街づくりに活かされています。さらに資生堂パーラーでは椿油を使った調理実習を中学校で行いました。

椿とは？



大船渡には、椿に魅了され、愛してやまない人々がたくさん！その想いを語っていただきました。

可能性



高橋 和良 さん
株式会社 バンザイ・ファクトリー

椿から何を思い浮かべます？と聞けば、やはり資生堂さんがです。続いて、伊豆大島、少ないですが九州とでできます。大船渡が椿の里だと知られることに役立つ商品をつくり、県内外に置き、この地を知って欲しいです。

椿は身近な存在



志田 隆人 さん
熊野神社(中森)

熊野神社周辺では、昔から庭に椿がある家が多かったんです。そこから自分たちで油を搾って灯りにしたり、髪につけたり、様々な料理に使ったりしていたようです。だから私にとって椿は本当に身近な存在です。

出会い



金田 愛 さん
オオフナコ

私は椿の仕事を通して、プライベートでも連絡を取り合うようなかけがえのない友人ができました。またこれがきっかけで皆さん(明治大学平山ゼミ)とも知り合えたので、私にとって椿とは出会いですね。

ワタシの憧れ



及川 由里子 さん
ラグジュアリーネイル

椿の姿は、ワタシの憧れ。優しく強く凛としている姿の様に生きてと思っています。「椿と女性の美をつなげたい」新しい夢をワタシにもたらしにくれた椿。女性の美のアイコンとして、憧れとして、椿とともに生きてと思っています。

関わった以上は見過ごせないもの



小松 ヒトミ さん
糸紡ぎ工房 ハベトロット

以前は椿があってもそれほど気にしていませんでしたが、椿染めを始めてからは、身近に咲く椿が目に残るようになりました。関わった以上は見過ごせない、そんな椿の魅力を周りの人たちに教えています。

気仙の人の心意気



林田 勲 さん
世界の椿館・碁石 館長

震災の津波の後、水をかぶったほとんどの椿は死んでしまったけれど海岸にあった野生のヤブツバキは一本も死んだものがなかったんです。だから、ここの椿は気仙に住む人の心意気の象徴だと思っています。

大船渡・気仙の宝



上部 泉 さん
元・末崎地区農業委員

椿は私からすれば、大船渡の宝であり、気仙の宝です。その宝をそのまま埋もれさせてはだめだと思います。だから子どもたちや若い人の力を借りて、みんなで協力して椿を盛り上げていきたいです。

ほっと温かな気持ちにさせてくれるお花



木村ご夫妻
ちっちゃなクレープ屋さん

寒い冬に彩りを添えて、ほっと温かな気持ちにさせてくれるお花。私たちは椿の花が咲く頃に、美味しい地元の食材を使って椿クレープを始めます。食べた方が椿の花のように楽しんで下さればいいなと思います。

信号機



沼田 京子 さん
大船渡市交通指導隊

職業柄、椿は信号だと思っています。花びらが赤、花の中心部分が黄色、葉が緑という三色が信号と同じなので、子どもたちへの指導に利用してきました。この信号を心に留めて思いやりを持った人になって欲しいです。

気仙の特産・宝



石川 秀一 さん
石川製油

自然のもので宝でもある椿を、気仙の特産としてずっと守っていきたくです。私は椿を加工して油にしますが、そこから二次加工、さらに三次加工してくれる人が商売をして、椿で少しでも潤っていただければと思います。

地域の宝



大和田 東江 さん
元・末崎地区農業委員

三面椿は大船渡において他に肩を並べるものはない世界に誇れる存在です。三面椿は世界一の宝で、ヤブツバキそのものはこの地域の宝です。椿とはそういう存在だと思います。

生きる力強さ



及川 宗夫 さん
椿工房 おいかわ

椿はいつも家や近所にある存在でしたが、特に震災後に意識するようになりました。椿は非常に生命力が強い。また、我が家の椿は津波で大きなダメージを負いましたがそこから芽吹き蘇った。生きる力強さを感じさせてくれます。

大船渡のまちおこしの象徴



山下 哲夫 さん
日本ツバキ協会・大船渡支部

花も実も無駄がないので、まちおこしに椿は良いんです。観光やまちおこしでもっと有効に活用したいと思っています。例えば花びらで作る押し花や、幹や枝の灰で作る焼き物用の釉薬ですね。されど椿だなあ。

自分の人生を考えさせられる存在



山田 康生 さん
株式会社 生成インターナショナル

僕は元々植物が好きなので椿だけという訳ではありませんが、僕にとって「樹木」とは、彼らよりもずっと短い自分の人生の儚さを感じながら、木へのリスペクトと共に、自身がどれだけ頑張れるのか、どう生きていこうかと考えさせられる存在です。

ありたい自分の姿



佐藤 優子 さん
株式会社 カメリア社中

三陸大船渡の地域の商社を目指したいということで「カメリア社中」という椿を掲げた社名にして以来、椿を身近に感じるようになりました。緑の葉っぱの中に真っ赤に凛と力強く咲き誇る椿、そんな姿を目指し、頑張っていきたいと思っています。